

子どもの音楽(基礎)

担当教員名	伊藤 桂子、河本 洋一
開講期・単位	1年 前期・選択 1単位・演習・CHI321164

講義の目的および概要	◇保育職に必要な音楽に関する基礎的な知識と表現を知り、これらを自ら学び続けるための方法を身につけることを目指します。
講義方法	◇毎回の冒頭30分程度を使い、「スキルアップタイム（発声、読譜、リズム等）」をおこないます。 ◇二人の担当教員が交代しながら、理論的内容と表現的内容の演習授業をおこないます。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：『子どもの音楽』という科目の目指すものを理解します。今持っている音楽の力を把握し、今後の授業の受け方をに役立てます。（河本） 2. 音と音楽の基礎～楽譜の読み方などの基本を知る（伊藤） 3. 保育における「声」の重要性：様々な声の使い方を知り、保育現場を保育者の声という観点から取り上げます。（河本） 4. 毎日の歌～生活の一部となる音楽について（伊藤） 5. 子どもの身体的・言語的発達と音・音楽：子どもの身体の発達と共に声（声域）や言語的能力も発達していくことを知り、子どもの音楽との関わりを理解します。（河本） 6. 行事の歌～さまざまな行事と音楽を知る（伊藤） 7. 子どもの音楽的能力の発達と音・音楽：子どもの音楽的能力の発達を知り、子どもの音楽との関わりを理解します。（河本） 8. 遊びの歌（伊藤） 9. 子どもの表現活動と音・音楽：音楽的要素を含む多様な活動を知り、子どもの生活の中での音楽との関わりを理解します。（河本） 10. 子どもに聴かせる歌～いろいろな表現の実践（伊藤） 11. 音・音楽の気づきを促す工夫：今まで意識したことがなかった音や音楽の存在に気づくことで、音の世界観を広げます。（河本） 12. うたあそび～わらべうたなどを交えながら子どもの音楽あそびを知る（伊藤） 13. 音楽表現と他領域との関わり：音楽（表現）と、他の保育の5領域とはどのような関連性があるのかを理解します。（河本） 14. 実技試験（授業内試験）（伊藤） 15. まとめと履修カルテ記入：アドグル毎に質問を取り上げて、これまでの授業を振り返ります。（河本）
到達目標	<p>◇保育の音楽表現で必要とされる基礎的な知識が身についている。</p> <p>◇保育の音楽表現で必要とされる基礎的な表現が身についている。</p>
成績評価基準と方法	<p>下記のAとBを80：20の比率で合計100点に換算し、評価します。</p> <p>A（80点） 定期試験：知識（試験期間に実施）：マークシート方式40点換算、実技（授業内実施）：歌唱中心40点換算</p> <p>B（20点） 毎回のスキルアップ課題（15点換算）、ノート作成（5点換算）</p>

テキスト・参考文献	◇子どもの歌200（チャイルド本社） ※複数科目共用 ◇新・保育内容シリーズ5 音楽表現（一藝社） ◇ゆびトレ（本学オリジナル教材） ◇教職課程のための大学ピアノ教本（教育芸術社） ※複数科目共用
授業外学習	◇スキルアップタイムの課題は、事前の練習が必要です。毎回指名しますので、必ず練習してきてください。 ◇Web上で、受講前アンケートを回答してから授業に参加してください。（3，5，7，9，11，13回のみ）
その他	音楽用の五線ノートを必ず用意してください。なお、授業で使用したノートは、理論の定期試験の時に持ち込み可能な資料になります。 【関連免許資格】幼稚園教諭、保育士、こども音楽療育士